

L.ラクティス プラズマの安全性

紀元前から「旧約聖書」の中で旅人をもてなし、ヨーグルトの母といわれる「酸乳(Soured milk)」。

乳酸菌L.ラクティス プラズマの属する*Lactococcus lactis*は、ヨーロッパにおいてこの酸乳づくりに使用され、昔から食べられていた、ヒトにとってなじみのある菌です。

また、キリングループにおいてさまざまな安全性試験を実施しており、豊富な安全性データを蓄積しています。



研究開発に 込めた思い

注目度の高い乳酸菌

これからの社会に必要なL.ラクティス プラズマ

社会のグローバル化が進むにつれて、人とモノの移動が活発になると、飛躍的にウイルスなどの外敵リスクが増加するはず。そこで注目したのが、免疫機能の司令塔であるプラズマサイトイド樹状細胞(pDC)。pDCは、特に、ウイルス防御において重要な役割を果たすことが知られています。研究を始めた当時は、pDCは乳酸菌では活性化できないと考えられていました。

しかし、私たちはその不可能に挑戦した結果、100種類以上の乳酸菌の中から、ついにL.ラクティス プラズマがpDCを直接活性化することを発見しました。

他の乳酸菌と異なり、L.ラクティス プラズマはウイルス防御において重要な免疫機能の司令塔に働きかけるからこそ、風邪・インフルエンザ症状の低減に効果を発揮するのです。これからも、社会に貢献すべくL.ラクティス プラズマの可能性を模索していきます。



キリンホールディングス株式会社
藤原大介博士

キリンホールディングス株式会社の
免疫機能に関する取り組みが
高い評価をいただきました

ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2021
「第一回 STOP感染症大賞」金賞受賞



STOP感染症大賞
ジャパン・レジリエンス・アワード
2021

日本食品免疫学会
2020年度「食品免疫産業賞」受賞



裏表紙



これからも健康であるために
知ってほしい「免疫」のはなし

L.ラクティス プラズマ 研究レポート

これまでの研究では存在しないとされていた免疫細胞の司令塔である
プラズマサイトイド樹状細胞を直接活性化することができる乳酸菌。

キリングループは乳酸菌の未来に新たな可能性を求め、

100種類以上の乳酸菌を研究したなかから

世界で初めて*乳酸菌L.ラクティス プラズマが
免疫の司令塔を直接活性化することを発見しました。

一般的な乳酸菌は一部の免疫細胞にしか働きませんが

L.ラクティス プラズマはプラズマサイトイド樹状細胞を直接活性化。

これによって免疫全体が活発に働き、健康な状態を維持できます。



表紙